

【愛称決定】大阪オリジナルぶどう「虹の雫」



大阪オリジナルぶどうの愛称が「虹の雫」に決定しました。虹の雫は、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所が開発した新品種でとても甘く、香りの良いぶどうです。このたび、このぶどうの愛称を募集したところ、700件を超える応募があり、その中から、時期によってぶどうの色が移り変わるという特徴をみごとに「虹」と表現した、「虹の雫」が選ばれました。

今後、大阪府を代表するぶどうとして、多くの人に知ってもらい、食べてもらうため、府としては、虹の雫の生産振興とPRに努めていきます。



農家直送 大阪産(もん)DE 親子クッキング!



青年農業者の集まりである大阪府4Hクラブ連絡協議会(会長:井関 優佑)は、8月5日に大阪ガス・ハグミュージアムで「初めての親子クッキング」を開催しました。食材を提供したクラブ員から、命を頂くことの大切さなどについて学んだ後大阪産(もん)の調理・試食では、新鮮な食材で作られた料理に保護者からは「今まで食べてきた野菜と全然ちがう」「野菜嫌いの子が残さずに全部食べた」と驚きの声があがり、子どもたちからは、「やさいとてもおいしかったよ、暑いけどがんばってね」と声援があがるなど、クラブ員にとっても嬉しいひとときとなりました。今後も府として青年農業者の支援を行うとともに、大阪産(もん)の魅力発信に努めます。



八尾えだまめを元気に!



夏に欠かせないえだまめは、収穫後、急速に食味が落ちるため、消費地に近い都市近郊での栽培に向いています府内では、河内音頭で有名な八尾市での、えだまめ栽培が盛んです。八尾市農業啓発促進協議会(大阪府と八尾市、大阪中河内農協、グリーン大阪農協)は、八尾えだまめのPRに取り組んでおり、5月27日にグランフロント大阪で行われた大阪産(もん)のイベントに実をパンパンに太らせた、ぷりぷりの八尾えだまめをPRしました。さらに、八尾市の主要駅などで販売イベントを開催しました。

また、農の普及課では、農家の所得向上のため、多収性品種「とびきり」の導入を推進してきました。今年度は、さらなる収量増加のため、新しい多収性品種の試験に取り組み、「とびきり」との比較を行った結果、とびきりと同等の収量があることがわかりました。とびきりは栽培時期が限られるため、とびきりの出荷できない時期に新品種を導入することにより、安定出荷と収量増加が期待できます。



中部管内農業祭等イベント情報



イベント名	開催日時	開催場所	問い合わせ先
長瀬地区 JA まつり	11月3日(金・祝) 9:45~13:00	東大阪市立金岡中学校	JA 大阪中河内 衣摺宮農購買所 TEL:06-6728-0663
門真市農業まつり	11月11日(土) 9:00~12:00	JA 北河内 門真中央支店	JA 北河内 門真中央支店 TEL:06-6909-4600
寝屋川市農業まつり	11月18日(土) 9:00~12:00	打上川治水緑地中央広場	寝屋川市産業振興室 TEL:072-825-2746
東大阪地区 JA まつり	11月18日(土) 9:45~13:00	東大阪市立石切小学校	JA 大阪中河内 孔舎衛農購買所 TEL:072-984-7728
大阪市農業フェア	11月18日(土) 10:00~14:30	長居公園「自由広場」	JA 大阪市本店 TEL:06-6793-8701
JA グリーン大阪農業祭	11月19日(日) 10:00~12:00	英田支店(英田地区) 岩田公園(玉川・若江地区) 加納西公園(盾津地区) 縄手支店(縄手地区) 三野郷支店(三野郷地区) 楠根川緑地公園(楠根地区) 御厨交通公園(意岐部地区)	JA グリーン大阪 TEL:06-6748-5209
八尾地区 JA まつり	11月23日(木・祝) 9:45~13:00	八尾市立八尾小学校	JA 大阪中河内 営農総合センター TEL:072-943-2832
交野市農業まつり	11月25日(土) 9:30~12:00	いきいきランド交野	JA 北河内 交野中央支店 TEL:072-892-3001
四條畷市農業祭	11月26日(日) 10:00~12:00	四條畷市市民総合センター	JA 大阪東部 営農経済センター TEL:072-878-6660
大東市農業祭	11月26日(日) 10:00~12:00	未広公園	大東市産業経済室 TEL:072-870-9620
枚方市農業まつり	12月2日(土) 9:30~12:00	ニッパーク岡東中央 及び市役所別館周辺	枚方市農業振興課 TEL:072-841-1348
JA 北河内農業まつり in 守口	12月9日(土) 10:00~14:00	京阪守口市駅前 「カナディアンスクエア」	JA 北河内 庭窪支店 TEL:06-6901-2500



~農の匠ご退任~ 大東市 橋本道世さま 長い間、お疲れさまでした!



橋本道世さんは中学生の農業体験受入れや、当時(平成13年)では新しい販売方法であった朝市の取組、さらには農産物利活用の新たな提案など、農の匠として、長きに渡り、地域農業の振興にご尽力されてきました。橋本さん、21年間、ご指導ご鞭撻ありがとうございました。